

## 変更点の詳細

### 情報を5段階の警戒レベルと一致させます

避難情報に関するガイドライン（内閣府）では、5段階の警戒レベルごとに、住民が取るべき行動が決められています。これまでの防災気象情報は、対象災害ごとに警戒レベルの情報との対応が異なり、分かりにくい面がありました。

今回、**5段階全ての警戒レベルに対応した情報を改めて設定することで、避難の判断がよりしやすい情報体系になります。**

### 警報・注意報の情報名称にレベルの数字を付けます

災害時に取るべき防災行動をより分かりやすくするため、防災気象情報の名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。

レベル3～5については、警戒レベル相当の情報ですが、分かりやすさ、伝わりやすさを重視した名称となります。

（例）大雨

これまで「大雨警報」

これから「レベル3大雨警報」 など

### 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります

これまでの洪水警報・注意報は廃止され、今後は河川の区分に応じ、伝え方が変わります。

洪水予報河川（大きな河川）の場合  
「レベル3河川氾濫警報」 など

それ以外の河川（中小河川）の場合  
「レベル3大雨警報」 など

また、河川氾濫に関して、新たにレベル5氾濫特別警報の運用が開始されます。

### 「警報レベル4相当」情報は「危険警報」として発表されます

レベル4避難指示の発令などの目安となる、レベル4相当の情報として、危険警報を運用します。

（例）土砂災害

これまで「土砂災害警戒情報」

これから「レベル4土砂災害危険警報」 など

### 併せてチェック！

「気象情報」として発表していたさまざまな情報は、大きく2つに分類して発表されます

「**気象防災情報**」 線状降水帯の発生など、極端な現象を速報的に伝える情報

（例）線状降水帯発生

これまで「顕著な大雨に関する気象情報」

これから「気象防災速報（線状降水帯発生）」

「**気象解説情報**」 現在・今後の気象状況などを網羅的に解説する情報



特集

## 避難のタイミングはレベルで判断！ 防災気象情報が新しくなります



新たな防災気象情報の運用が29日（金）から開始されます。これまでの防災気象情報は、災害ごとに名称や発表基準が異なり、避難行動を判断しづらいという課題がありました。新情報では、「河川氾濫」、「大雨」、「土砂災害」、「高潮」の警報などを、住民が取るべき行動に対応した5段階の警戒レベルと整合させ、災害発生の危険度に応じたレベルの数字を名称に含めて発表することで、災害時に「いつ・どのように行動すればよいか」がより分かりやすくなります。

### 主な変更点

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を**5段階の警戒レベルに合わせて発表**
- 対象災害ごとの情報として整理し、**レベル4相当の情報として危険警報を新設**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表**

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の 氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇 や波の打上げ による浸水	(警戒レベルごとの) 住民が取るべき行動
特別警報	警戒レベル 5相当 レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！>					
危険警報	警戒レベル 4相当 レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報	危険な場所から全員避難
警報	警戒レベル 3相当 レベル3 氾濫 警報	レベル3 大雨 警報	レベル3 土砂災害 警報	レベル3 高潮 警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備など
注意報	警戒レベル 2 レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報	レベル2 土砂災害 注意報	レベル2 高潮 注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど)
	警戒レベル 1	早期注意情報			災害への心構えを高める

レベル3以上の防災気象情報は、以下の情報発信ツールで取得できます

ぜひ、ご登録・ご利用ください。

- ・防災ぬまた（アプリ）
- ・緊急告知 FM ラジオ
- ・ホットとメールぬまた
- ・災害テレフォンサービス
- ・市防災情報 X(旧 Twitter)
- ・Facebook いいね！沼田市

市HP



各媒体の登録方法などは、市ホームページをご覧ください→